

# 平成23年度 財政状況資料集

## 総括表（市町村）

都道府県名	兵庫県	市町村類型	- 0	指定団体等の指定状況				区分		平成23年度(千円)	平成22年度(千円)	区分	平成23年度(千円・%)	平成22年度(千円・%)	
				財政健全化等	×	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引	歳入歳出差引						実質収支比率
市町村名	南あわじ市	地方交付税種地	1-1	財源超過	×	歳入歳出差引	1,198,782	1,029,274	( 1 )			( 90.2 )	( 92.1 )		
				首都	×	翌年度に繰越すべき財源	350,745	312,065			16,812,737	16,914,441			
				近畿		実質収支	848,037	717,209			0.45	0.47			
				中部	×	単年度収支	130,828	5,713			21.5	24.8			
人口	22年国調(人)	49,834	産業構造 ( 5 )				過疎	×	積立金	356,830	472,054	健全化判断比率			
	17年国調(人)	52,283	区分	22年国調	17年国調	山振		繰上償還金	270,791	882,956	実質赤字比率	-	-		
	増減率 (%)	-4.7		6,802	7,508	低開発	×	積立金取崩し額	-	-	連結実質赤字比率	-	-		
住民基本台帳人口	24.03.31(人)	51,017	第1次	25.5	25.6	指数表選定		実質単年度収支	758,449	1,360,723	将来負担比率	158.7	185.5		
	23.03.31(人)	51,450		6,468	7,775		基準財政収入額	5,367,061	5,332,588	資金不足比率 ( 4 )					
	増減率 (%)	-0.8	第2次	24.2	26.5		基準財政需要額	12,219,642	12,199,157						
面積 (km <sup>2</sup> )	229.23		第3次	13,444	14,030		標準税収入額等	6,896,927	6,835,212						
人口密度 (人/km <sup>2</sup> )	217			50.3	47.8		経常経費充当一般財源等	14,286,930	14,366,140						
世帯数 (世帯)	16,981						歳入一般財源等	19,351,951	19,418,367						
職員の状態															
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	37,436,120	38,759,508				
	市区町村長	1	8,500		一般職員	458	1,455,524	3,178	うち公的資金	25,032,866	25,331,576				
	副市区町村長	1	6,800		うち消防職員	-	-	-	債務負担行為額(支出予定額)	2,059,816	1,300,474				
	教育長	1	6,000		うち技能労務職員	25	71,900	2,876	収益事業収入	-	-				
	議会議長	1	4,500		教育公務員	13	49,563	3,813	土地開発基金現在高	500,000	700,000				
	議会副議長	1	3,780		臨時職員	-	-	-	積立金現在高	1,300,398	943,568				
	議会議員	18	3,465		合計	471	1,505,087	3,196	減債基金	440,396	436,696				
						ラスバイレス指数( 6 )		104.8	( 96.9 )	其他特定目的基金	6,024,719	5,378,056			
	一般会計等の一覧														
	項番	会計名	事業会計の一覧		項番	会計名	公営企業(法適)の一覧	項番	会計名	公営企業(法非適)の一覧	項番	会計名	関係する一部事務組合等一覧	組合等名	地方公社・第三セクター等一覧
(1)	一般会計	(5)	国民健康保険特別会計(保険事業勘定)	(12)	国民宿舍事業会計	(14)	慶野松原海水浴場特別会計	(16)	兵庫県市町村職員退職手当組合	(26)	南あわじ産業振興協会				
(2)	産業廃棄物最終処分事業特別会計	(6)	国民健康保険特別会計(直営診療所勘定)	(13)	下水道事業会計	(15)	土地開発事業特別会計	(17)	兵庫県市町交通災害共済組合	(27)	西淡まちづくり				
(3)	ケーブルテレビ事業特別会計	(7)	後期高齢者医療特別会計					(18)	兵庫県町議会議員公務災害補償組合	(28)	南淡路農業公園				
(4)	老人保健特別会計	(8)	介護保険特別会計(保険事業勘定)					(19)	兵庫県後期高齢者医療連合組合(一般会計)	(29)	南淡風力エネルギー開発				
		(9)	介護保険特別会計(サービス事業勘定)					(20)	兵庫県後期高齢者医療連合組合(特別会計)	(30)	淡路人形協会				
		(10)	訪問看護事業特別会計					(21)	淡路広域行政事務組合(一般会計)						
		(11)	農業共済事業会計					(22)	淡路広域行政事務組合(淡路食肉センター事業特別会計)						
								(23)	淡路広域水道企業団(水道事業会計:企業団)						
								(24)	淡路広域水道企業団(水道事業会計:南あわじ市SC)						
								(25)	洲本市・南あわじ市衛生事務組合(一般会計)						

(注釈) 1: 経常収支比率の( )内の数値は、「減収補償債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。  
 2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。  
 3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に印を付与している。  
 4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。  
 5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。  
 6: ラスバイレス指数の( )内の数値は、国家公務員の時限的(2年間)給与改定特例法による措置が無いとした場合の値である。

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位:千円・%)					地方税の状況(単位:千円・%)					歳出の状況(単位:千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
地方税	5,990,936	22.5	5,990,936	37.8	普通税	5,951,857	99.3	-	議会費	255,909	1.0	-	255,909	
地方譲与税	321,263	1.2	321,263	2.0	法定普通税	5,951,857	99.3	-	総務費	3,668,453	14.5	370,251	2,724,268	
利子割交付金	16,691	0.1	16,691	0.1	市町村民税	2,112,282	35.3	-	民生費	6,320,782	24.9	133,827	3,650,103	
配当割交付金	14,877	0.1	14,877	0.1	個人均等割	69,631	1.2	-	衛生費	1,519,774	6.0	162,257	1,175,071	
株式等譲渡所得割交付金	3,448	0.0	3,448	0.0	所得割	1,725,214	28.8	-	労働費	115,340	0.5	-	10,618	
地方消費税交付金	477,695	1.8	477,695	3.0	法人均等割	114,269	1.9	-	農林水産業費	1,569,015	6.2	715,542	707,967	
ゴルフ場利用税交付金	-	-	-	-	法人税割	203,168	3.4	-	商工費	1,074,396	4.2	27,662	785,048	
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	3,323,275	55.5	-	土木費	2,829,378	11.2	704,611	2,293,539	
自動車取得税交付金	100,908	0.4	100,908	0.6	うち純固定資産税	3,313,244	55.3	-	消防費	946,428	3.7	69,396	870,666	
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	163,593	2.7	-	教育費	2,487,990	9.8	650,127	1,759,264	
地方特例交付金	82,389	0.3	82,389	0.5	市町村たばこ税	352,707	5.9	-	災害復旧費	192,899	0.8	-	39,221	
児童手当及び子ども手当特例交付金	25,387	0.1	25,387	0.2	鉱産税	-	-	-	公債費	4,363,713	17.2	-	4,151,829	
減収補填特例交付金	57,002	0.2	57,002	0.4	特別土地保有税	-	-	-	諸支出費	27,924	0.1	27,924	27,924	
地方交付税	9,958,355	37.5	8,794,615	55.5	法定外普通税	-	-	-	前年度繰上充用金	-	-	-	-	
普通交付税	8,794,615	33.1	8,794,615	55.5	目的税	39,079	0.7	-	歳出合計	25,372,001	100.0	2,861,597	18,451,427	
特別交付税	1,163,728	4.4	-	-	法定目的税	39,079	0.7	-						
震災復興特別交付税	12	0.0	-	-	入湯税	39,079	0.7	-						
(一般財源計)	16,966,562	63.9	15,802,822	99.8	事業所税	-	-	-						
交通安全対策特別交付金	10,912	0.0	10,912	0.1	都市計画税	-	-	-						
分担金・負担金	199,618	0.8	-	-	水利地益税等	-	-	-						
使用料	811,046	3.1	20,763	0.1	法定外目的税	-	-	-						
手数料	254,151	1.0	1,596	0.0	旧法による税	-	-	-						
国庫支出金	2,157,159	8.1	-	-	合計	5,990,936	100.0	-						
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-										
都道府県支出金	1,718,688	6.5	-	-										
財産収入	107,819	0.4	-	-										
寄附金	16,105	0.1	-	-										
繰入金	316,892	1.2	-	-										
繰越金	1,029,274	3.9	-	-										
諸収入	604,957	2.3	1,743	0.0										
地方債	2,377,600	8.9	-	-										
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-										
うち臨時財政対策債	1,121,100	4.2	-	-										
歳入合計	26,570,783	100.0	15,837,836	100.0										

区分		平成23年度	平成22年度
徴収率	合計	97.4	89.3
現・計	市町村民税	98.1	91.5
(%)	純固定資産税	96.7	86.8

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	4,025,240	実質収支	299,944
下水道	1,793,700	再差引収支	-118,784
上水道	299,015	加入世帯数(世帯)	8,663
と畜場	29,562	被保険者数(人)	16,706
介護サービス	16,353	被保険者 1人当り { 保険税(料)収入額 108 国庫支出金 104 保険給付費 248	
国民健康保険	445,563		
その他	1,441,047		

区分		決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計		11,705,226	46.1	9,033,518	8,551,920	50.4
人件費		4,241,139	16.7	3,707,029	3,500,260	20.6
うち職員給		2,605,938	10.3	2,136,518	-	-
扶助費		3,100,410	12.2	1,174,696	1,170,658	6.9
公債費		4,363,677	17.2	4,151,793	3,881,002	22.9
元利償還金		4,363,562	17.2	4,151,678	3,880,887	22.9
内 うち元金		3,700,988	14.6	3,519,555	3,248,764	19.2
訳 うち利子		662,574	2.6	632,123	632,123	3.7
一時借入金利子		115	0.0	115	115	0.0
その他の経費		10,612,279	41.8	8,466,255	5,735,010	33.8
物件費		3,327,963	13.1	1,981,283	1,568,761	9.3
維持補修費		263,708	1.0	117,056	112,717	0.7
補助費等		4,006,336	15.8	3,696,673	2,659,018	15.7
うち一部事務組合負担金		802,996	3.2	802,968	758,730	4.5
繰出金		1,863,525	7.3	1,582,260	1,394,514	8.2
積立金		1,121,947	4.4	1,088,983	-	-
投資・出資金・貸付金		28,800	0.1	-	-	-
前年度繰上充用金		-	-	-	-	-
投資的経費計		3,054,496	12.0	951,654	-	-
うち人件費		94,423	0.4	93,671	-	-
普通建設事業費		2,861,597	11.3	912,433	-	-
うち補助		733,320	2.9	62,482	-	-
うち単独		1,943,721	7.7	802,759	-	-
災害復旧事業費		192,899	0.8	39,221	-	-
失業対策事業費		-	-	-	-	-
歳出合計		25,372,001	100.0	18,451,427	-	-

(注釈)  
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、  
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率(市町村)

平成23年度 兵庫県南あわじ市

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	26,096	24,943	1,153	803	383	37,328	
2 産業廃棄物最終処分事業特別会計	119	75	44	44	0	108	
3 ケーブルテレビ事業特別会計	462	461	1	1	25	0	
4 老人保健特別会計	0	0	0	-	-	-	
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							
293							
294							
295							
296				</			

### (3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人口	51,017	人(H24.3.31現在)			
面積	229.23	千円	実収	赤字	比率
入出	26,570,783	千円	運結	実赤	比率
歳入	25,372,001	千円	実	公債	比率
歳出	848,037	千円	将	来	比
標準財政規模	16,812,737	千円	市	町	村
地方債現在高	37,436,120	千円	(	年	度
			毎		
			H19	- 0	H20
			H21	- 0	H22
			H22	- 0	H23
			H23	- 0	

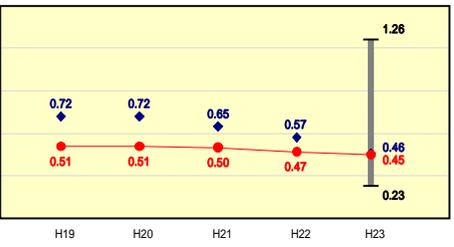


市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づき(実収公債費比率及び将来負担比率を算出して)いない団体については、グラフを表記しない。充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

#### 財政力

財政力指数 [0.45]

類似団体内順位 29/62 全国平均 0.51 兵庫県平均 0.62

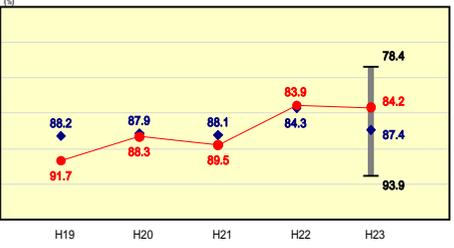


**財政力指数の分析概**  
合併後、数値はほぼ横ばいからやや下がりが気味で、類似団体平均と比較して低い状況であったが、平成23年度については市町村類型が変わったことにより、類似団体平均とほぼ同数値となった。今後少子高齢化や人口流出、景気の低迷等を動向とすると税収の増加は見込むことができず、数値を改善させるためには歳出削減を図ることが最も重要である。このため「第2次南あわじ市行政改革前期実施計画(以下、「前期実施計画」という。))及び「南あわじ市財政計画(以下、「財政計画」という。))に基づき、定員管理・給与等の適正化、補助金の整理統合、内部管理経費の見直し等を引き続き徹底するとともに、合わせて歳入確保のため地方税の徴収強化や使用料・手数料の見直し等についても努めていく。

#### 財政構造の弾力性

経常収支比率 [84.2%]

類似団体内順位 9/62 全国平均 90.3 兵庫県平均 92.3

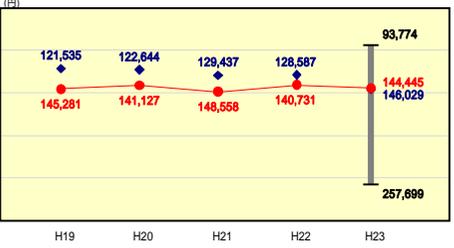


**経常収支比率の分析概**  
市町村類型の変更により類似団体平均よりも良い状況となっている。前年度と比較すると0.3%悪化しているが、これは普通交付税及び臨時財政対策債の合計額がやや減少したこと、経常経費がほぼ横ばいであったことが要因となっている。今後も「前期実施計画」及び「財政計画」に基づき義務的経費の削減、特に地方債の発行抑制や繰上償還による公債費の軽減に努め、更なる改善を目指す。また経常経費に大きな割合を占めている下水道事業補助金については、今後も増大する恐れがあるが、整備計画を精査することによって建設事業費を抑制するとともに使用料の見直し、施設管理経費削減のための委託業務等の見直しにより、効果的な管理体制の構築に取り組んでいく。

#### 人件費・物件費等の状況

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [144,445円]

類似団体内順位 32/62 全国平均 119,477 兵庫県平均 113,626

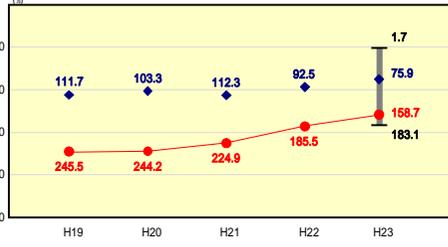


**人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析概**  
市町村類型の変更により類似団体平均よりやや良い状況となっているが、前年度と比較するとやや悪化している。大きな要因はプレミアム付地域振興券の発行業務委託料によるものであり、これを除けば前年度よりやや良い状況となるため、今後も人件費における定員管理・給与等の適正化や物件費における内部管理経費の見直し等による歳出削減を引き続き徹底していく必要がある。

#### 将来負担の状況

将来負担比率 [158.7%]

類似団体内順位 58/62 全国平均 69.2 兵庫県平均 111.6

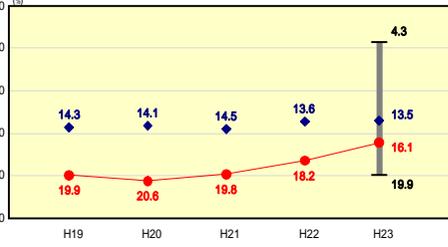


**将来負担比率の分析概**  
前年度と比較して26.8%改善しているが、類似団体平均と比較すると大幅に悪い水準となっている。大きな要因は、合併前から実施してきた生活基盤整備のために発行した地方債による影響と、供用開始から年数が経過しておらず、接続率が芳しくないことにより使用料収入が少なく赤字補てん的な繰上償還が多額となっている下水道事業による影響である。しかし新たな地方債の発行を抑制し、計画的に繰上償還を実施したこと等により比率は3年連続して改善傾向にあり、財政計画においても今後も比率は改善していく傾向となっている。今後も財政計画に基づき地方債の発行抑制や繰上償還、下水道事業の経営健全化に努めることで後年度の負担軽減に取り組んでいく。

#### 公債費負担の状況

実収公債費比率 [16.1%]

類似団体内順位 47/62 全国平均 9.9 兵庫県平均 12.0

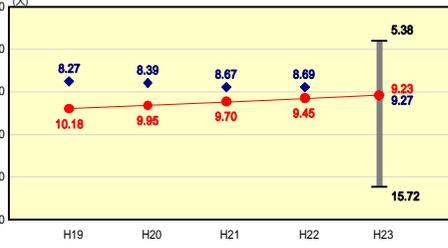


**実収公債費比率の分析概**  
下水道事業など過去の大型事業による地方債の元利償還が多額となり、前年度より2.1%改善したものの類似団体平均と比較するとまだ悪い状況となっている。しかし財政計画に基づき地方債の発行抑制や定期的な繰上償還の実施により、平成20年度決算をピークに改善に転じており、今後もさらに改善すると見込んでいる。また地方債の発行許可が必要となる18%については平成23年度決算において下回ることができたが、さらに平成24年度決算見込みにおいては地方債発行協議が不要となる16%を下回る見込みとなっており、今後はこの数値を維持、もしくはさらに改善できるように引き続き「財政計画」に基づき取り組みを続けていく。

#### 定員管理の状況

人口千人当たり職員数 [9.23人]

類似団体内順位 30/62 全国平均 7.17 兵庫県平均 6.85

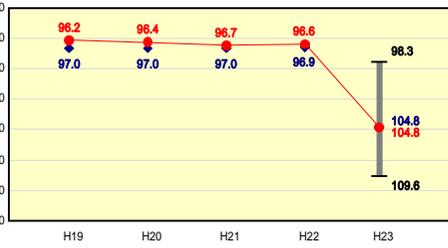


**人口千人当たり職員数の分析概**  
「南あわじ市定員適正化計画」に基づき、新規採用者を退職者の1/2以内に抑制してきたことにより、平成17年4月1日現在で661人であった職員数は、平成24年4月1日現在で535人となり126人減少しているが、引き続き計画による適正な定員管理に努め、平成30年4月1日における職員数を500人以内とするよう、取り組みを継続していく。類似団体平均との比較においては市町村類型の変更により、ほぼ同程度の数値となっている。

#### 給与水準(国との比較)

ラスパイレース指数 [104.8]

類似団体内順位 28/62 全国市平均 106.9 全国町村平均 103.3



**ラスパイレース指数の分析概**  
給料表及び管理職手当等の見直し、55歳昇給抑制等の取り組みを過去に実施してきたことにより、ほぼ類似団体平均と同数値になっているが、平成23年度決算においては国の7.8%の給与カットによりラスパイレース指数が100を超えた状況になっている。今後も適正な人事配置と行政効率の高い組織づくりを進めていくことで、一層の給与適正化に努めていく。

# (4) -1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成23年度

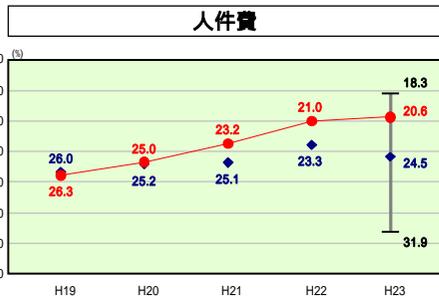
兵庫県南あわじ市

## 経常収支比率の分析

人口	51,017人	(H24.3.31現在)											
面積	229.23	km <sup>2</sup>											
総人口	26,570,783	千円	実績	実績	赤字	赤字	比率	-	%				
総収入	25,372,001	千円	実績	実績	赤字	赤字	比率	-	%				
総支出	848,037	千円	実績	実績	赤字	赤字	比率	16.1	%				
標準財政規模	16,812,737	千円	実績	実績	赤字	赤字	比率	158.7	%				
地方債	37,436,120	千円	実績	実績	赤字	赤字	比率		%				
			市	町	村	類型	H19	H20	H21	H22	H23		
			(	年	度	毎	)	-	0	-	0	-	0



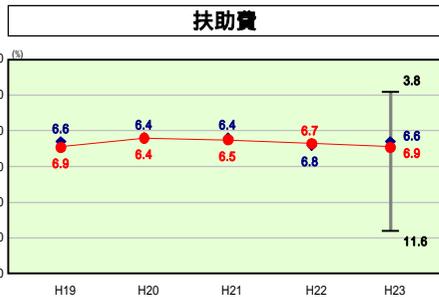
市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。



類似団体内順位: 5/62 全国平均: 25.4 兵庫県平均: 26.5

#### 人件費の分析

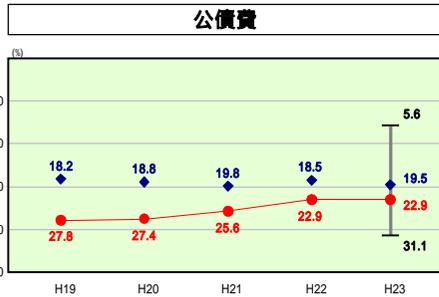
人件費にかかる経常収支比率は、類似団体平均と比較すると良い水準となっている。これは過去に給料表及び管理職手当等の見直しや、55歳昇給抑制などの取り組みを実施してきたことによる。人口当たり職員数についてもほぼ類似団体平均と同数値まで抑制できており、類似団体と比較しても良い結果となっている。引き続き「定員適正化計画」に基づき一層の定員管理を実施することで、目標としている平成30年4月1日現在の職員数500人以内を達成し、人件費のなお一層の抑制に努めていく。



類似団体内順位: 32/62 全国平均: 10.5 兵庫県平均: 10.8

#### 扶助費の分析

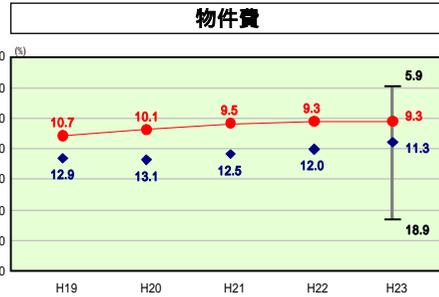
扶助費にかかる経常収支比率は、前年度に比べやや増加し、類似団体平均と比較してもやや悪い状況となっている。これは市独自施策として実施している少子対策事業のうち第2子以降の保育料無料化による経費が大きな要因となっている。しかし少子高齢化対策としての本事業の効果は大きいと見込まれることから、今後も類似団体平均から大きく逸脱しないよう注意しながら、諸施策を実施していく。



類似団体内順位: 52/62 全国平均: 19.0 兵庫県平均: 23.2

#### 公債費の分析

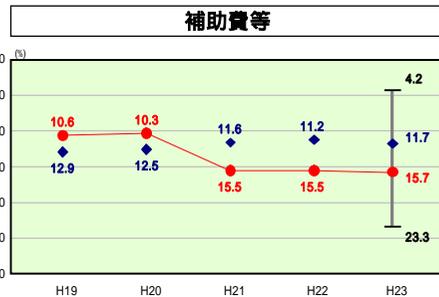
公債費にかかる経常収支比率は、類似団体平均よりも悪い状況となっている。主な要因としては、過去の大型事業(生活基盤整備等)による地方債発行額が多額となったことにより、毎年の元利償還金が大きくなっていることが挙げられる。しかしながら「財政計画」に基づき地方債の発行抑制や定期的な繰上償還の実施、また償還期間の調整などによって元利償還額を大きく変動させないよう努力がなされており、実質公債費比率についても改善傾向にある。今後はさらに地方債の発行抑制、繰上償還の実施等により、公債費の経常収支比率を改善させるよう努めていく。



類似団体内順位: 12/62 全国平均: 13.1 兵庫県平均: 11.0

#### 物件費の分析

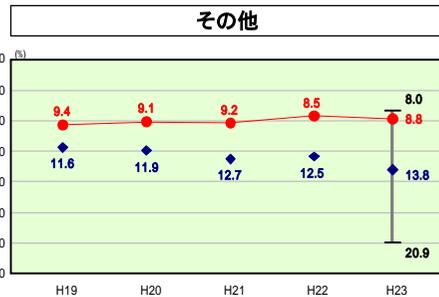
物件費にかかる経常収支比率は、類似団体平均より良い水準となっている。これまでも物品の一元管理やデマンド監視装置の設置による最大需要電力の管理、職員の努力による外部委託(清掃等)の削減や指定管理者制度の活用推進など、経費抑制に対する取り組みにより、数値は改善傾向にあり、今後も「前期実施計画」や「財政計画」に基づき一層の経費削減に努めていく。



類似団体内順位: 49/62 全国平均: 10.1 兵庫県平均: 9.1

#### 補助費等の分析

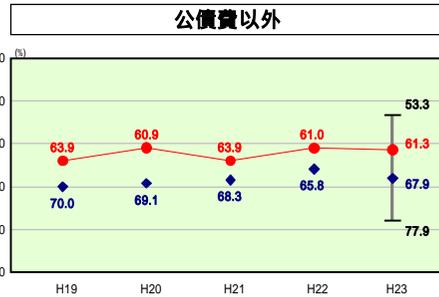
補助費等にかかる経常収支比率は、前年度よりやや悪化し類似団体平均と比較しても悪い水準となっている。これは下水道事業が平成21年度より地方公営企業法の財務規程等を適用したことにより、従来の繰上金が補助費等となったことによる。今後は「前期実施計画」及び「財政計画」に基づき補助金の整理統合等、経費の見直しを実施するなど一層の経費削減に努め、改善を図っていく。



類似団体内順位: 5/62 全国平均: 12.2 兵庫県平均: 11.7

#### その他の分析

その他の経常収支比率においては、類似団体平均より大幅に良い状況となっており、全類似団体中でも良い結果となっている。これは「前期実施計画」や「財政計画」に基づき内部管理経費等を抑制できたことによるものである。しかし今後は施設の維持管理経費が増大傾向にあるため、引き続き計画的な経費の抑制を行い、水準を維持していく。



類似団体内順位: 2/62 全国平均: 71.3 兵庫県平均: 69.1

#### 公債費以外の分析

公債費以外の経常収支比率では、類似団体平均と比較しても良い水準となっており、類似団体中でも2番目の高水準となっている。補助費等が類似団体平均よりも大きく悪い結果となっているほか、概ね平均、または良い結果となっていることが要因である。今後は「前期実施計画」や「財政計画」に基づき、より一層の経費削減に努めていく。

## (4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成23年度

兵庫県南あわじ市

### 人件費及び人件費に準ずる費用の分析



### 人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	4,241,139	83,132	84,551	1.7
賃金(物件費)	422,668	8,285	6,401	29.4
一部事務組合負担金(補助費等)	548,079	10,743	8,091	32.8
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	1,218	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	89,005	1,745	3,516	50.4
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	94,423	1,851	1,649	12.2
退職金	558,074	10,939	10,148	7.8
合計	4,837,240	94,816	95,278	0.5

### 参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	9.23	9.27	0.04
ラスパイレス指数	104.8	104.8	0.0

### 公債費及び公債費に準ずる費用の分析

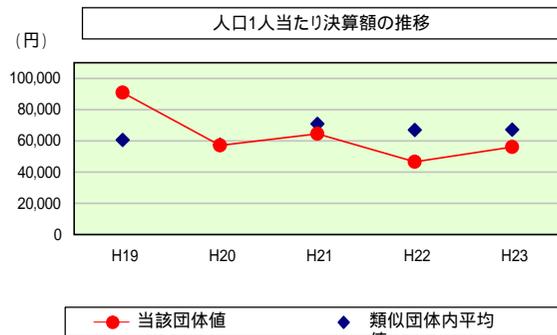


### 公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	4,092,771	80,224	62,533	28.3
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	5	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	1,221,674	23,946	18,364	30.4
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	284,618	5,579	4,570	22.1
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	13,655	268	2,681	90.0
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	173	3	9	66.7
特定財源の額	211,884	4,153	3,959	4.9
地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	3,453,193	67,687	51,583	31.2
合計	1,947,814	38,180	32,619	17.0

平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

### (参考) 普通建設事業費の分析



### 普通建設事業費

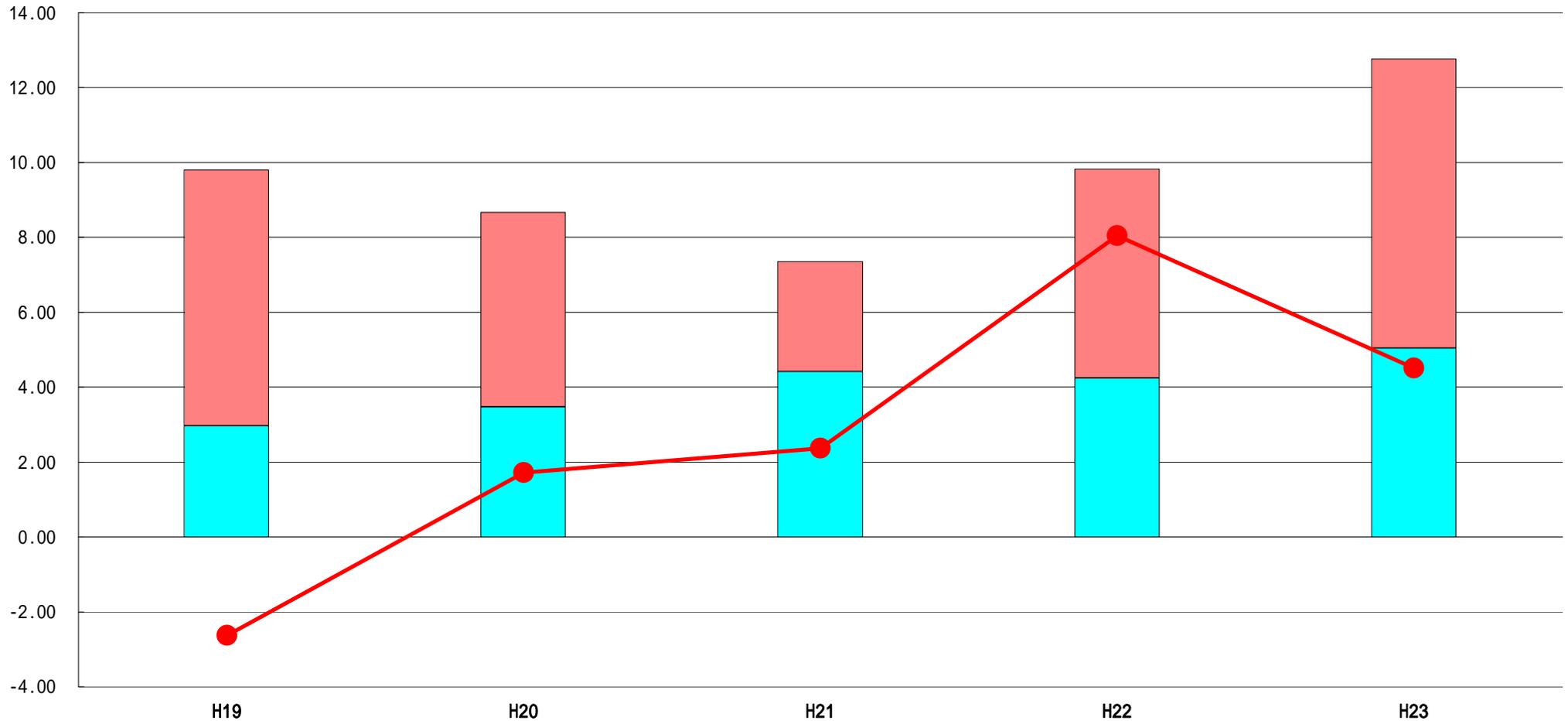
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H19	4,815,218	90,941	23.8	60,510	6.6	30.4
うち単独分	3,075,093	58,077	19.1	33,757	1.8	17.3
H20	2,997,434	57,151	37.2	57,376	5.2	32.0
うち単独分	914,331	17,433	70.0	32,650	3.3	66.7
H21	3,351,569	64,383	12.7	70,789	23.4	10.7
うち単独分	1,571,634	30,191	73.2	40,880	25.2	48.0
H22	2,390,303	46,459	27.8	66,876	5.5	22.3
うち単独分	1,261,337	24,516	18.8	36,310	11.2	7.6
H23	2,861,597	56,091	20.7	67,088	0.3	20.4
うち単独分	1,943,721	38,099	55.4	37,146	2.3	53.1
過去5年間平均	3,283,224	63,005	11.1	64,528	3.9	15.0
うち単独分	1,753,223	33,663	4.1	36,149	2.2	1.9

# (5) 実質収支比率等に係る経年分析 (市町村)

平成23年度

兵庫県南あわじ市

標準財政規模比 (%)



標準財政規模比 (%)

区分	年度	H19	H20	H21	H22	H23
 財政調整基金残高		6.84	5.20	2.93	5.58	7.73
 実質収支額		2.96	3.47	4.42	4.24	5.04
 実質単年度収支		2.63	1.71	2.37	8.04	4.51

## 分析欄

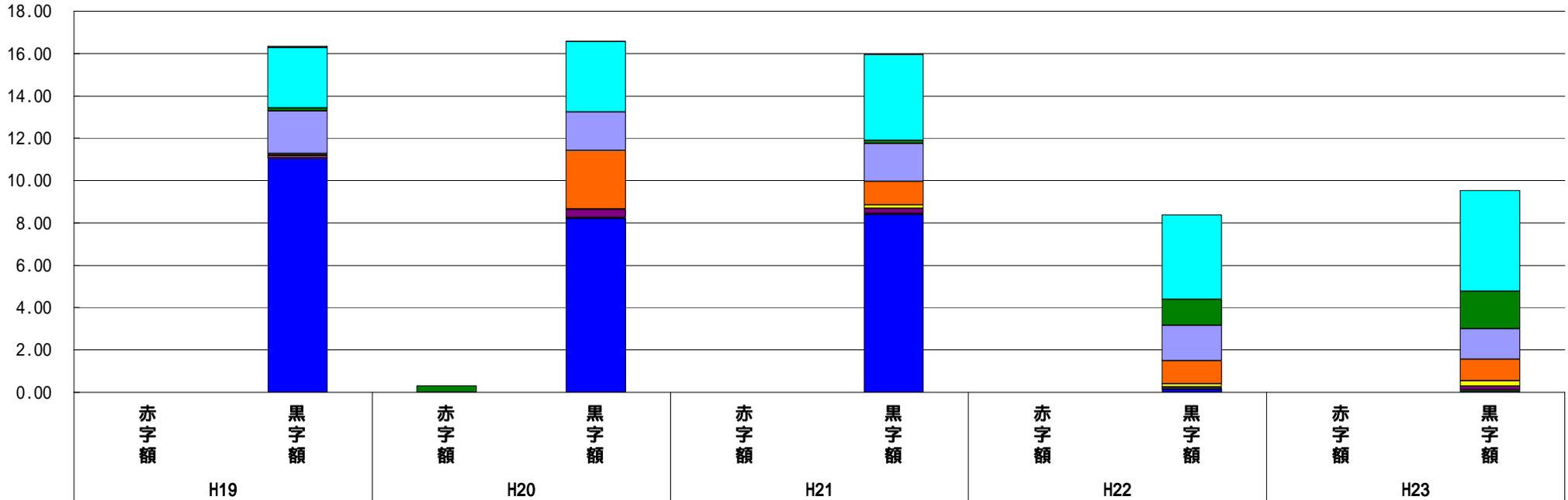
財政調整基金残高については、合併以後平成21年度まで毎年取り崩しを行ってきたことにより標準財政規模比を減少させてきたが、平成22年度決算において取り崩しを行わなかったことにより割合を増加させることができた。平成23年度においても同様に取り崩しを行わず、決算剰余金の一部を積み立てることができたことにより、割合は2.15%増加させることができた。実質単年度収支においては、平成19年度において財政調整基金の取り崩しや税収の減により大きな赤字となったが、同年に策定した「南あわじ市財政健全化計画」及び改訂後の「南あわじ市財政計画」に基づき地方債の繰上償還等を計画的に実施したことにより、以降は黒字に転じている。

# (6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析(市町村)

標準財政規模比(%)

平成23年度

兵庫県南あわじ市



標準財政規模比(%)

会計	年度	H19	H20	H21	H22	H23
農業共済事業会計		0.07	0.03	0.03	0.01	0.00
一般会計		2.84	3.31	4.07	3.99	4.77
国民健康保険特別会計(保険事業勘定)		0.15	0.30	0.13	1.23	1.78
国民宿舎事業会計		2.01	1.82	1.79	1.66	1.44
下水道事業会計		0.07	2.76	1.12	1.09	1.01
産業廃棄物最終処分事業特別会計		0.05	0.03	0.17	0.14	0.26
介護保険特別会計(保険事業勘定)		0.11	0.37	0.22	0.04	0.17
後期高齢者医療特別会計		-	0.06	0.06	0.07	0.07
その他会計(赤字)		-	-	-	-	-
その他会計(黒字)		11.04	8.20	8.39	0.15	0.04

## 分析欄

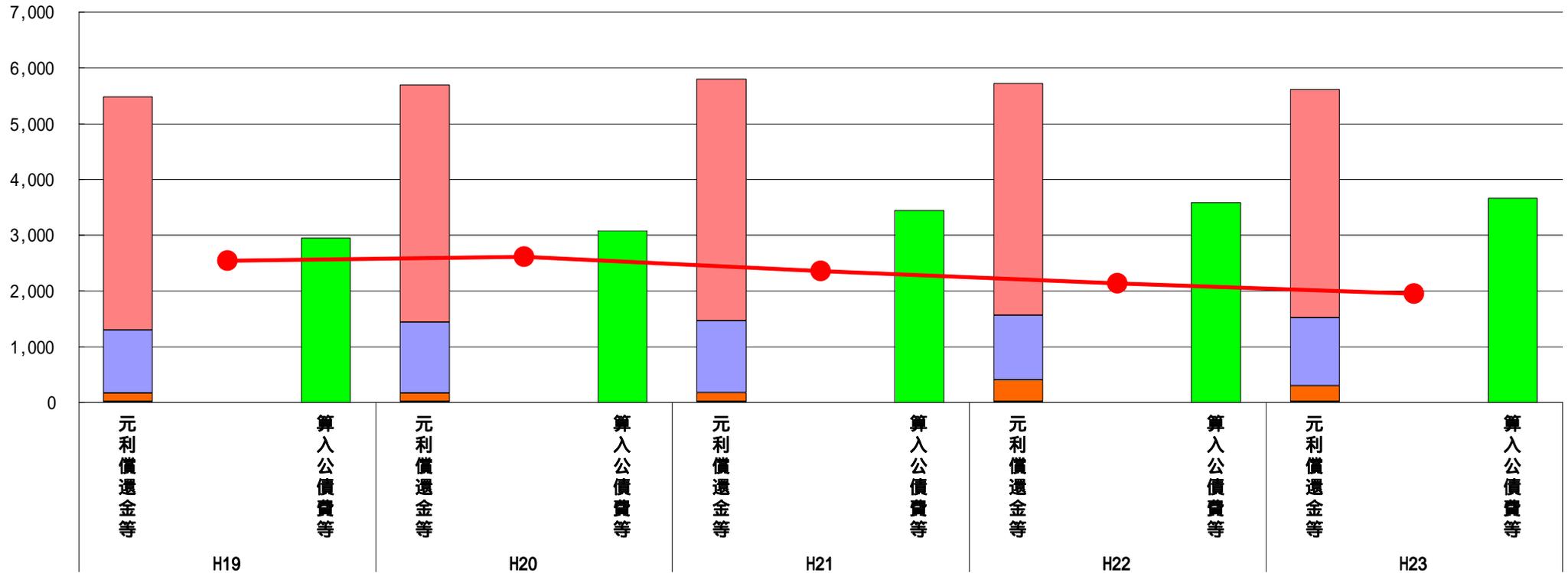
連結実質赤字比率においては、平成20年度に国民健康保険特別会計(補遺兼事業勘定)で赤字を出したものの、以降は全会計において黒字となっている。また全体的な黒字が平成21年度から平成22年度に大幅に減少しているが、これは水道事業を淡路広域水道企業団に移管したことによるものである。

# (7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成23年度

兵庫県南あわじ市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H19	H20	H21	H22	H23
元利償還金等(A)	元利償還金		4,185	4,257	4,333	4,162	4,093
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		1,127	1,266	1,291	1,152	1,222
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		157	155	162	395	285
	債務負担行為に基づく支出額		14	14	14	14	14
	一時借入金の利子		0	1	1	0	0
算入公債費等(B)	算入公債費等		2,944	3,083	3,447	3,587	3,665
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		2,539	2,610	2,354	2,136	1,949

## 分析欄

実質公債費比率における分子の構成要因では、新規の地方債発行を抑制しながら計画的な繰上償還を実施したことにより元利償還金は減少したものの、下水道事業における過去の大規模投資にかかる元利償還が大きなものとなっていることから公営企業債の元利償還金に対する繰入金が増加している。

また、新規の地方債発行において交付税算入率の高い地方債を選択していることや、100%算入される臨時財政対策債の発行額が大きくなっていることから、算入公債費等についても増加傾向にある。

平成19年度決算と平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は減債基金積立不足算定額を含んでいる。

平成21年度決算以降の算入公債費等は特定財源の額を含んでいる。

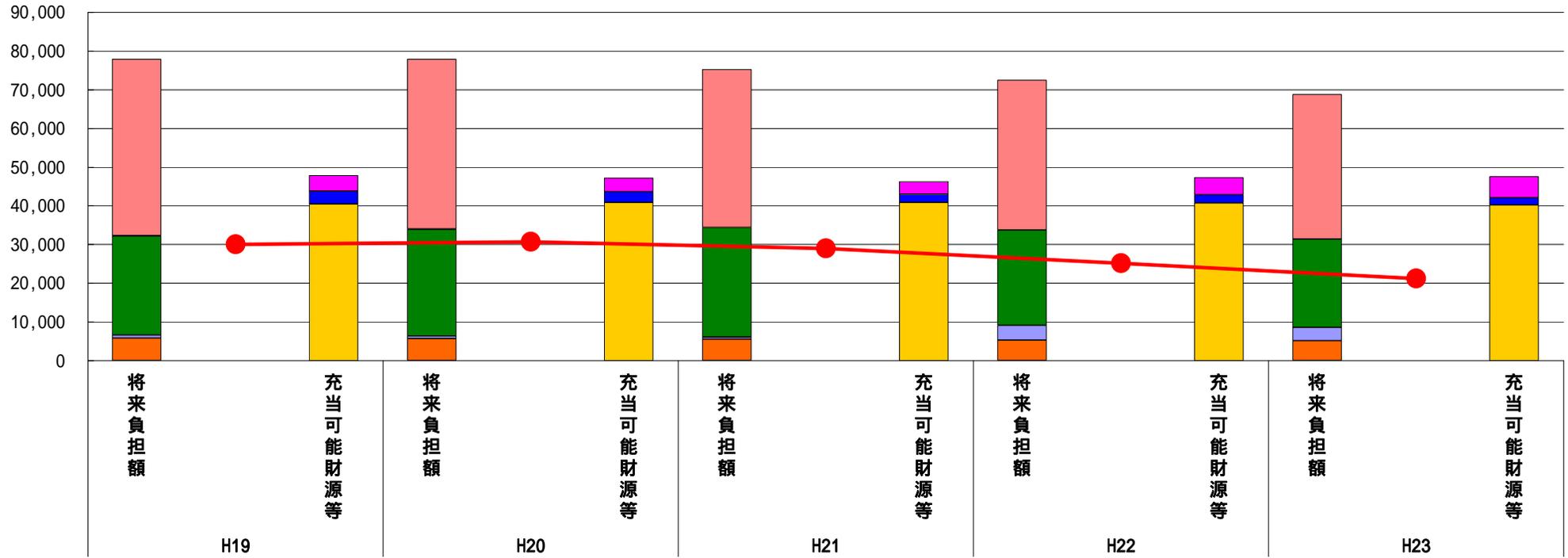
平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

# (8) 将来負担比率(分子)の構造(市町村)

(百万円)

平成23年度

兵庫県南あわじ市



(百万円)

分子の構造		年度	H19	H20	H21	H22	H23
将来負担額(A)	一般会計等に係る地方債の現在高		45,610	43,966	40,869	38,760	37,436
	債務負担行為に基づく支出予定額		82	69	56	42	29
	公営企業債等繰入見込額		25,593	27,586	28,310	24,703	22,829
	組合等負担等見込額		723	583	441	3,729	3,396
	退職手当負担見込額		5,836	5,699	5,577	5,298	5,112
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等(B)	充当可能基金		4,147	3,668	3,302	4,544	5,584
	充当可能特定歳入		3,312	2,653	2,189	2,088	1,799
	基準財政需要額算入見込額		40,393	40,903	40,784	40,738	40,217
(A) - (B)	将来負担比率の分子		29,992	30,678	28,978	25,163	21,203

## 分析欄

実質公債費比率における分子の構成要因では、将来負担額がやや減少、充当可能財源等はほぼ横ばいとなっており、比率を減少させる要因となっている。個別には下水道事業における地方債残高が減少したことにより公営企業債等繰入見込額が減少していることや、一般会計等における地方債の発行抑制及び繰上償還による地方債現在高の減少によって将来負担額が減少し、一方で財政調整基金の取り崩しを行わず、決算剰余金の一部を積み立てたことによる充当可能基金の増によって充当可能財源等が増加していることが挙げられる。

平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。